株式会社アイエスエイ

メール受信でのスクリプト実行の方法

2020年9月8日

目次

Out	tlook の場合	1
1.	Outlook の仕分けルールの追加	1
2.	usbux でコマンド実行する内容をバッチファイルとして作成	4
3.	Outlook でマクロを作成	4
4.	Outlook で自動仕分けルールを作成する	6
Bec	cky!の場合	13
1.	・ usbux でコマンド実行する内容をバッチファイルとして作成	13
2.	Becky!の仕分けルールの追加	13

Outlook の場合

1. Outlook の仕分けルールの追加

Outlook の仕分けルール(自動仕分けウィザード)に、「スクリプトを実行する」を追加します。

① レジストリエディタの起動

Windows の [スタート] ボタンをクリック後に "regedit" と入力し、検索結果の regedit をクリックします。

すべて	アプリ	ドキュメント	ウェブ	その他 🔻	
最も一致する	6検索結果				
酸 レジ アプ	ストリ エラ リ	² 19-			
Web の検索					
,	it - Web 🕯	は果を見る		>	
,	it				

以下のキーを登録します。

キー	$HKEY_CURRENT_USER \verb"""+Software"+Microsoft"+Office"+xx.0"+Outlook \verb"++Security"+Software"+Microsoft"+Office"+xx.0"+Outlook \verb+++Security+Software+Microsoft"+Software+Microsoft"+Software+Microsoft"+Software+Sof$
名前	EnableUnsafeClientMailRules
種類	REG_DWORD
値	1 (有効)

※レジストリ キーのパス中にある xx は以下の通りです。Security のキーが無い場合はキ ー作成します。

Outlook 2010 の場合:14 Outlook 2013 の場合:15 Outlook 2016 の場合:16 Outlook 2019 の場合:16

📑 レジストリ エディター

ファイ	IV(F)	彩	틖集	(E) 表示(V) お気に入	り(A) ヘルプ(H)		
コンピ	1-	9-	−¥ŀ	IKE	Y_CURRENT_USER¥Softw	vare¥Microsoft¥Office¥1	16.0¥Outlook¥Security	
	>.		М	icr	osoft Management C 🔺	名前	種類	データ
	>		М	icr	osoftEdge	ab (既定)	REG_SZ	(値の設定なし)
	>		М	ob	ilePC	St EnableUnsafeCli	REG DWORD	0x00000001 (1)
	>		Μ	SE	esign Tools	~	-	
	>		Μ	SF				
	>		M	ult	imedia			
	2	H	N	arra	ator			
	2	H	N	GC				
		H		ote	pad			
	Ť		Ĭ	14	e 			
		Ť	Ļ		Access			
			÷		Common			
			ŝ	H	Excel			
			ŝ	H	MAPI			
			÷		Outlook			
				1	Contact			
				>	Diagnostics			
				>	Logging			
				-	Office Explorer			
		1		>	Options			
				-	Preferences			
				-	Profiles			
				-	Setup			
				1	Security			

<手順>

レジストリエディタの赤枠部分に"キー"を入力して Enter ※"xx"の部分は上の 2 桁の数字を入力

- ✓ 現れたフォルダ内で右クリック
- ✓ 「新規」⇒「DWORD (32 ビット) 値(D)」を選択
- ✓ 名前を「EnableUnsafeClientMailRules」とする



✓ 作成したファイルを右クリックして、「修正」を選択

```
📑 レジストリ エディター
```

```
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ヘルプ(H)
```

コンピューター¥HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Microsoft¥Office¥16.0¥Outlook¥Security



✓ 値のデータを「1」にして OK



✓ Outlook を起動していたら Outlook の再起動を行う

これが完了すれば、Outlook の仕分けルールに新たに、「アプリケーションを開始する」、 「スクリプトを実行する」が追加されています。

2. usbux でコマンド実行する内容をバッチファイルとして作成

テキストエディタなどでメール受信トリガで実行するコマンドをバッチファイルとして作 成します。

例) メール受信で赤ランプを点灯する場合。

usbux.exe -c 4 acop 1000

(COM ポート 4 の場合)

3. Outlook でマクロを作成

次に、Outlook でマクロを作成します。

- ✓ Outlook の「ファイル」から、「オプション」をクリック
- ✓ 「リボンのユーザー設定」で「開発」にチェックマーク(▼)を付けて OK

Outlook のオプション ? \times 全般 メール コマンドの選択(<u>C</u>): ① リボンのユーザー設定(旦): ① 予定表 基本的なコマンド メインタブ 連絡先 <mark>メイン タブ</mark> □ ☑ ホーム (メール) タスク 🐴 アカウント設定 検索 オプション オフライン作業 ∃ 新規作成 言語 ∃ 削除 すべてのアイテムを閉じる すべてのフォルダーを送受信 すべての添付ファイルを保存... □ 50%
 □ 50%
 □ 50%
 □ 50%
 □ 50% 簡単操作 ∃ 移動 詳細設定 E タグ E 検索 リボンのユーザー設定 云蔵 元に戻す 仕分けルールと通知の管理... 自動応答... □ (株本)
 □ 営声
 □ 送受信 (IMAP/POP)
 □ ビホーム (予定表の表形式ビュー)
 □ ビホーム (予定表) 元に戻9
 仕分けルールと
 自動応答...
 新しいタスク
 新しい予定
 新しい連絡先 クイック アクセス ツール バ アドイン 追加(<u>A</u>) >> . □ ☑ ホーム (連絡先) トラスト センター • << 削除(<u>R</u>) 田 ☑ ホーム (タスク) 新しいメール
 新しいメール
 名前を付けて保存 ∃ ☑ ホーム (メモ) ◉ ☑ ホーム (履歴) 団
オーム (グループ) 𝗉 🗹 フォルター 同同志元 ∃ 🗹 開発 新しいタブ(<u>W</u>) 新しいグループ(<u>N</u>) 名前の変更(<u>M</u>)... ユーザー設定: リセット(E) ▼ 🕕 インポート/エクスポート(P) マ 🕕 OK キャンセル ✔ 「開発」タブが作成されたことを確認する



 ✓ Outlook の画面で「Alt+F11」を入力するか、開発タブで「Visual Basic」をクリック する

) ₹					
ファイル	т−7	送受信	フォルダー	表示	開発	ヘルプ
Visual Ba	ाट की स्व sic	/□ ▼ /□のセキュリテ	イ COM アドイン	していていていた。 使用できな アイテム	2U1 77	=== オームの フォームの 選択 デザイン
	F			アドイン	-ב	ーザー設定フォーム

✓ VBAの画面が立ち上がるので、挿入タブから「標準モジュール」を選択

着 Microsoft Visual Basic for Applications - Project1 ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(Q) デバッグ(D) プロシージャ(<u>P</u>)... 🖸 🗖 – 🛃 🕺 🖬 🛍 🗛 🗐 プロパティ - Project1 ユーザー フォーム(<u>U</u>) == X 標準モジュール(<u>M</u>) ----Project1 プロジェクト クラス モジュール(<u>C</u>) ÷. 全体 項目別 (オブジェクト名) Project1 ファイル(L)...

✔ 以下のマクロを入力する

※" CustomMailMessageRule"の部分に好きな名前を入力する(後に"スクリプト"として選択する)

Sub CustomMailMessageRule(Item As Outlook.MailItem)

Shell("この赤字の部分に、起動させたいバッチファイルのファイルパス名を入力する") End Sub 下の例では、既にバッチファイル(action.bat)のファイルパス名を入力した状態になっています。

•	🦑 Project1 - Module1 (コード)		
L	((General)	
		Sub CustomMailMessageRule(Item As Outlook.MailItem) Shell ("C:¥Users¥hoge¥Documents¥action.bat") End Sub 	

複数の動作を行いたい場合は、同様にして複数のマクロを作成していきます。

- 4. Outlook で自動仕分けルールを作成する
- 次に、Outlook で自動仕分けルールを作成します。
- ✓ Outlookの「ファイル」から、「仕分けルールと通知」を選択

アカウント 設定 *	アカウントの設定 このアカウントの設定を変更、または追加の接続を設定します。 ■ <u>iOS または Android 用の Outlook アプルを入手</u>
ジール	メールボックスの設定 削除済みアイテムの完全削除や整理を利用して、メールボックスのサイズを管理します。
	仕分けルールと通知 仕分けルールと通知を使用して、受信メール メッセージを整理し、アイテムが追加、変更、また は削除されたときに更新情報を受け取ります。
[仕分けルールと通知の管理

✔ 「新しい仕分けルール」をクリック

仕分けルールと通知	
電子メールの仕分けルール 通知の管理	
売新しい仕分けルール(N) 仕分けルールの変更(H) ▼ 🗈 コピー(C)	<mark>≫</mark> 削除(<u>D</u>)
▲ ▼ 仕分けルールの実行(<u>R</u>) オプション(<u>Q</u>)	

✔ 「受信メッセージにルールを適用する」を選択し、次へ

自動仕分けウィザード	×
新しい仕分けルールを作成します。テンプレートを利用できます。	
ステップ 1: テンプレートを選択してください(S)	
メッセージの整理	
🕍 特定の人から受信したメッセージをフォルダーに移動する	-
1 件名に特定の文字が含まれるメッセージをフォルダーに移動する	
▲ パフリック クループに送信されたメッセージをフォルターに移動する	
「「特定の人から受信したメッセーンにノフクを設定する」 ↓ 特定の PCC コノードから PCC マイテノをコナルガー(「移動する	
19月20日19月20日19月19日19日19日19日19日19日19日19日19日19日19日19日19日1	
■ 特定の人からのメールを受信したら、新着アイテム通知ウィンドウに表示する	•
● 特定の人からのメッセージを受信したら音で知らせる	
■ メッセージを受信したら、自分のモバイル デバイスに通知を送信する	
新しい仕分けルールを作成する	
◎ 受信メッセーシにルールを適用する	
フテップ 2・仕分仕ルールの説明を編集してください (下線部分を加速力にます)(D)	
このエカロルールは人のタイニングで通用されより、メッセーンで支信したこと	
キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了	

✓ [件名]に<u>特定の文字</u>が含まれる場合をクリックし、画面下部の<u>特定の文字</u>をクリック
 ※今回は件名を選択していますが、"本文"や"差出人"を選択することも可能です

自動仕分けウィザード

条件を指定してください ステップ 1: 条件を選択してください(C) □ [差出人] が 名前/パブリック グループ の場合 ☑ [件名] に 特定の文字 が含まれる場合 □ 指定された アカウントを経由した場合 □ 自分だけに送信された場合 □ [宛先] に自分の名前がある場合 □ 重要度が (重要度) の場合 □ 秘密度が (秘密度) の場合 次のフラグが付いている場合: (フラグの内容) □ [CC]に自分の名前がある場合 □ [宛先] または [CC] に自分の名前がある場合 □ [宛先] に自分の名前がない場合 □ [宛先] または [C C] が <u>名前/パブリック グループ</u> の場合 □ 本文に <u>特定の文字</u> が含まれる場合 □ [件名] か本文に <u>特定の文字</u> が含まれる場合 メッセージ ヘッダーに 特定の文字 が含まれる場合 □ 受信者のアドレスに 特定の文字 が含まれる場合 □ 差出人のアドレスに 特定の文字 が含まれる場合 分類項目が (分類項目) の場合 ステップ 2: 仕分けルールの説明を編集してください (下線部分をクリックします)(D) この仕分けルールは次のタイミングで適用されます: メッセージを受信したとき [件名] に 特定の文字 が含まれる場合 キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了

 \times

✓ 文字の指定で、件名を入力して「追加」後に OK をクリック

文字の指定	×
[件名] に含まれる文字(W):	
000	追加(A)
特定の文字の一覧(S):	削除(R)
ОК	キャンセル

✓ 次へをクリック

自動仕分けウィザード

条件を指定してください ステップ 1: 条件を選択してください(C) □ [差出人] が 名前/パブリック グルーブ の場合 ✓ [件名] に 特定の文字 が含まれる場合 □ <u>指定された</u> アカウントを経由した場合 □ 自分だけに送信された場合 □ [宛先] に自分の名前がある場合 □ 重要度が (重要度) の場合 秘密度が(秘密度)の場合 次のフラグが付いている場合: (フラグの内容) □ [CC]に自分の名前がある場合 □ [宛先] または [CC] に自分の名前がある場合 □ [宛先] に自分の名前がない場合 □ [宛先] または [CC] が <u>名前/パブリック グループ</u> の場合 □ 本文に 特定の文字 が含まれる場合 □ [件名] か本文に 特定の文字 が含まれる場合 □ メッセージ ヘッダーに 特定の文字 が含まれる場合 □ 受信者のアドレスに 特定の文字 が含まれる場合 □ 差出人のアドレスに 特定の文字 が含まれる場合 □ 分類項目が (分類項目) の場合

×

ステップ 2: 仕分けルールの説明を編集してください (下線部分をクリックします)(D)

この仕分けルールは次のタイミングで適用されます: メッセージを受信したとき [件名] に <mark>〇〇〇</mark> が含まれる場合	
キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) >	完了

- ✔ 「スクリプトを実行する」にチェックを入れる
- ✓ 画面下部の「スクリプト」(青字)をクリック

自動仕分けウィザード

 \times

メッセージに対する処理を選択してください
ステップ 1: 処理を選択してください(C)
□ 指定 フォルダーへ移動する
〇 分類項目 (分類項目) を割り当てる
 削除する
□ 削除する (復元できません)
□ コピーを 指定 フォルダーへ移動する
□ <u>名前/パブリック グルーブ</u> へ転送する
□ 添付して <u>名前/パブリック グルーブ</u> に転送する
□ <u>特定のテンプレート</u> を使って返信する
□ メッセージ フラグ <u>期限</u> を設定する
□ メッセージ フラグを消去する
□ メッセージの分類項目を消去する
□ (<u>重要度</u>)を設定する
<u>アフリケーション</u> を開始する
□ 開封済みとしてマークする
✓ 人クリノト を実行9る
□ 住方けルールの処理を中止9る
ステップ 2: 仕分けルールの説明を編集してください (下線部分をクリックします)(D)
この仕分けルールは次のタイミングで適用されます: メッセージを受信したとき
[件名] に 000 が含まれる場合
さらにこのコンピューターで送受信を行った場合のみ
スクリプト を実行する

キャンヤル	< 戻る(B)	次へ(N) >	完了
	·	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	

✓ 先程作成したマクロを選択して、OK

スクリプトの選択

スクリプト(S):	
Project1.CustomMailMess	ageRule
01/	881* -
OK	閉しる

✔ 完了する

自動仕分けウィザード

 \times

ステップ1:処理を選択してください(C) ✓ スクリプトを実行する 当定 フォルダーへ移動する 分類項目(分類項目)を割り当てる 削除する 削除する(復元できません) コピーを指定フォルダーへ移動する 名前/パブリック ヴルーブ へ転送する 茶付して 名前/パブリック ヴルーブ に転送する 特定のテンプレート を使って返信する メッセージ フラヴ 期限 を設定する メッセージ フラヴ 期限 を設定する 「毎要度」を設定する 日和する (賃)を鳴らす アプリケーションを開始する 開封済みとしてマークする 仕分けルールの処理を中止する
 ✓ Z0UTトを実行する 指定フォルダーへ移動する 分類項目(分類項目)を割り当てる 削除する 削除する (須元できません) コピーを指定フォルダーへ移動する 名前/パブリックグルーブへ転送する ふ何して名前/パブリックグルーブに転送する 法にのテンプレートを使って返信する メッセージフラグ期限を設定する メッセージフラグ消費目を消去する メッセージの分類項目を消去する (重要度)を設定する 印刷する (音)を鳴らす アプリケーションを開始する 開封済みとしてマークする 仕分けルールの処理を中止する
当定 フォルターへ移動する 分類項目 (分類項目) を割り当てる 削除する (復元できません) コピーを 指定 フォルターへ移動する 多前/パブリック グループ へ転送する 添付して 名前/パブリック グループ に転送する 第付して 名前/パブリック グループ に転送する 「毎定のテンプレート を使って返信する メッセージ フラグ 期限 を設定する マンレージの分類項目を消去する (重要度) を設定する 印刷する (音) を鳴らす アプリケーション を開始する 開封済みとしてマークする 仕分けルールの処理を中止する
分類項目(分類項目)を割り当てる 削除する 削除する(復元できません) コピーを指定フォルダーへ移動する 冬前/パブリックグループへ転送する 添付して名前/パブリックグループに転送する 「ないてジロックグループ」に転送する ************************************
 ○ 削除する ○ 削除する(復元できません) ○ コピーを指定フォルダーへ移動する ○ <u>名前/パブリック ヴルーブ</u>へ転送する ○ 添付して<u>名前/パブリック ヴルーブ</u>に転送する ○ <u>特定のテンプレート</u>を使って返信する ○ メッセージ フラグ <u>期限</u>を設定する ○ メッセージ フラグを消去する ○ 女の分類項目を消去する ○ (重要度)を設定する ○ 印刷する ○ (音)を鳴らす ○ アブリケーションを開始する ○ 開封済みとしてマークする ○ 仕分けルールの処理を中止する
 ○ 削除する(復元できません) ○ コピーを 指定 フォルダーへ移動する ○ 名前/パブリック グルーブ へ転送する ○ 添付して 名前/パブリック グルーブ に転送する ○ 持定のテンプレート を使って返信する ○ メッセージ フラグ 期限 を設定する ○ メッセージ フラグを消去する ○ メッセージの分類項目を消去する ○ (重要度)を設定する ○ 印刷する ○ (音)を鳴らす ○ アプリケーション を開始する ○ 開封済みとしてマークする ○ 仕分けルールの処理を中止する
 □ コピーを 指定 フォルダーへ移動する <u>名前/パブリック グルーブ</u> へ転送する 添付して <u>名前/パブリック グルーブ</u> に転送する <u>特定のテンプレート</u> を使って返信する メッセージ フラグ <u>期限</u> を設定する メッセージ フラグを消去する メッセージの分類項目を消去する (重要度)を設定する 「印刷する (音)を鳴らす アプリケーション を開始する 開封済みとしてマークする 仕分けルールの処理を中止する
名前/パブリック グルーブ へ転送する 添付して 名前/パブリック グルーブ に転送する 特定のテンプレート を使って返信する メッセージ フラグ 期限 を設定する メッセージ フラグを消去する メッセージの分類項目を消去する (重要度) を設定する 印刷する (音) を鳴らす アプリケーション を開始する 開封済みとしてマークする 仕分けルールの処理を中止する
 除付して<u>名前/パブリック グループ</u>に転送する 特定のテンプレート を使って返信する メッセージ フラグ 期限 を設定する メッセージの分類項目を消去する (重要度)を設定する (回刷する (音)を鳴らす アプリケーションを開始する 開封済みとしてマークする 仕分けルールの処理を中止する

 □ メッセージ フラク 期限 を設定する □ メッセージ フラグを消去する □ メッセージの分類項目を消去する □ (重要度) を設定する □ 印刷する □ (音) を鳴らす □ アブリケーション を開始する □ 開封済みとしてマークする □ 仕分けルールの処理を中止する
 □ メッセーシ ノラクを消去する □ メッセージの分類項目を消去する □ (重要度)を設定する □ 印刷する □ (音)を鳴らす □ アプリケーションを開始する □ 開封済みとしてマークする □ 仕分けルールの処理を中止する
 □ 𝔅𝔅̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄̄
 □ (里安反) (2000年93) □ 印刷する □ (音) を鳴らす □ アブリケーション を開始する □ 開封済みとしてマークする □ 仕分けルールの処理を中止する
□ (1440)900 □ (音)を鳴らす □ <u>アプリケーション</u> を開始する □ 開封済みとしてマークする □ 仕分けルールの処理を中止する
□ <u>アブルケーション</u> を開始する □ <u>開封済みとしてマークする</u> □ 仕分けルールの処理を中止する
□ 開封済みとしてマークする □ 仕分けルールの処理を中止する
□ 仕分けルールの処理を中止する
ステップ 2: 仕分けルールの説明を編集してください (下線部分をクリックします)(D)
この仕分けルールは次のタイミングで適用されます。メッセージを受信したとき
はらにこのコンピューターで送受信を行った理会のみ
Project1 CustomMailMessageRule 友定行する
rojecti custominamessageraic
キャンゼル < 戻る(B) バハ(N) > 元 J

✓ マクロのセキュリティで「すべてのマクロを有効にする」を選択



トラスト センター			?	×
信頼できる発行元 マクロの設定 プライバシー オプション アオームペースのサインイン 電子メールのセキュリティ デジタル署名されたマグロ 添付ファイルの取り扱い 目動ダウンロード マクロの設定 マクロのとキュリティの設定を プログラムによるアクセス マクロのセキュリティの設定を	のマクロを無効にする(M) いたりしては警告を表示し、その他のマクロはすべて無効にする(S) (抽発表示する(A) する (推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)(M) 、インストールされているアドインに適用する(I)			
		OK	747	er .

※「デジタル署名されたマクロに対しては警告を表示し、その他のマクロは全て無効にす る」を選択する場合は、マクロを作成する際にデジタル署名を作成してからマクロを作成 してください。

以上の設定を行えば、メール受信をトリガにして、usbux でコマンド実行する事ができます。

Becky!の場合

1. usbux でコマンド実行する内容をバッチファイルとして作成

テキストエディタなどでメール受信トリガで実行するコマンドをバッチファイルとして作 成します。

例) メール受信で赤ランプを点灯する場合。

usbux.exe -c 4 acop 1000

(COM ポート 4 の場合)

- 2. Becky!の仕分けルールの追加
- ✓ ツールからフィルタリングマネージャを選択します。



✓ 新規ルールをクリックします

フィルタリングマネージャ	×
ルール オプション	
ルール一覧(S):	新規ルール(R) ルールを編集(E)
	条件を追加(A)

✓ ルールの編集で条件を入力し、追加をクリックします。

ルールの編集		×
条件の追加(_) ヘッダ(H): Subject (件名) (こ 文字列(S): ○○○ √ が ●ある時(P) ○ない時(N) □英大小文字を区別(C) □行頭(T) □単語として(W) □正規表現(G) 条件一覧(L): ↓追加(A) ↓置換(R) ↑編集(I) 削除(D)	アクション(Z) 振り分け フォルダへ振り分け ▼ ■ mailbox ● 受信箱 ● 送信箱 ● ごみ箱 びみ箱	 マォルダ作成(F) タイミング ④ 1: デフォルト ④ 2: 自動 ④ 3: 手動 リセット(E) キャンセル

 ✓ アクションで「フィルタ」、「プログラムを実行する **Set**」を選択しま、OK をク リックします。

ルールの編集	×
- 条件の追加(J) ヘッダ(H): (こ	アクション(Z) フィルタ - プログラムを実行する **Set** - >
文字列(S): が	コマンドライン(F): C:¥Users¥takas¥Documents¥actionbat
 ● 英大小文子を区別(C) ● 「行頭(T) ● 単語として(W) ● 正規表現(G) ● ない ● 注意ton(A) ● 実換(R) ↑ 環集(T) ● 調除(D) 	
条件→覧(L): ↓ 旦加(A) ↓ 直接(N) 1 确果(J) P)(F(D)	
	ロマンドライン中に %1 と記述すると、対象メールを書き出したテン ボラリファイル名に展開されます。プログラムが終了するまで制御 が戻らないのでご注意下さい。
	リセット(E)
	✓ルール有効(X) OK キャンセル

 \times

✓ OKをクリックします



レ−ルー覧(S):			
☑ 受信 □-☆ <mark>☆ [実行]</mark> a □ □ Sub	ction.bat ject: 000		新規ルール(R) ルールを編集(E)
			条件を追加(A)
			条件を編集(C)
			検索(F)
			複写(Y)
			削除(L)
			>> ツリーを開く(O)
			<< ツリーを閉じる(P)
			↑ルール上に(U) ×10
受信 送信源	iд		↓ルール下に(D) x10